

令和3年度札幌地区の研究活動

札幌市小学校長会 研究部長
札幌市立資生館小学校 村元秀之

1 はじめに

札幌市小学校長会は、これまで7つの専門部で進めていた共同研究を6つに改編し、昨年度より新しい共同研究をスタートした。コロナ禍の中の研究活動の2年目は、感染の状況に合わせてオンラインと会同の両方を用いて活動を進めた。

2 研究計画

【研究主題】

○共同研究主題

ともに未来を創造するたくましくしなやかな

「さっぽろっ子」を育む豊かで確かな小学校教育の実現

この研究主題の設定に当たって、「札幌市小学校長会のこれまでの7つの専門部研究」「札幌市小学校教育の重点」そして「全連小・道小の研究の視点」の関連を整理し、今年度は以下の重点を設定した。

○今日的な課題を踏まえつつ、明日の学校経営に生きる研究を推進し、速やかな情報共有に努める。

○教職員が子どもと向き合える時間を一層確保できるようにするとともに、人材育成を含め、潤いのある学校とすべく「学校の働き方改革」を進める。

○市教委へ一層発信できる研究とし、信頼感に基づく互惠関係を構築する。

○新専門部6部体制の研究内容と重点、研究推進の方法について検討・検証・改善を進める。

○具体的な取組を基にしながらも、事例研究にとどまることなく、校長の果たす役割と指導性について、明日の学校経営に資する汎用性のある研究を進め、校長の職能の向上を図る。

○各部の研究成果や各校の取組の一層の情報共有を図る。

【研究組織】

(1) 共同研究推進委員会（年間8回開催・委員数18名）

6専門部の研究推進委員と研究部、担当副会長により、各専門部が研究内容等を交流協議することを通して、相互に連携を強化し、実践的な研究を企画・運営・推進する。

(2) 専門部研修会

「学ぶ力」育成部、「豊かな心」育成部、「健やかな体」育成部、学びの支援部、教育環境部、人材育成部の6部で構成。各部ごとに研究副主題・重点を設定し研究活動を行う。

(3) 支部研修会

行政区の10区を支部とし、学校経営に必要な研修や情報交換などに取り組む。

【全市的研究の交流と発表】

(1) 4月総会・研修会：令和3年4月26日（月）※コロナ禍により中止

(2) 10月研修会（兼 道小札幌地区教育経営研究会）：令和3年10月18日（月）オンラインで開催

(3) 2月研究大会：令和4年2月3日（木）オンラインで開催

(4) 3月総会・研修会：令和4年3月3日（木）オンラインで開催

【研究広報の発行】

共同研究の進捗状況と各専門部の調査・研究内容を全会員に伝えるため、事務局研究部が研究広報「鏈（つながり）」を作成し、共同研究推進委員会報告として、理事研修会を通して、各支部へと還流する。



3 研究活動

今年度は、これまでの研究内容に加え、札幌市の学校教育の重点に掲げられた令和3年度の包括的重点「感染症対策を講じた学校教育の推進」「小中一貫した教育の推進」「ICTを活用した教育の推進」を各専門部の研究内容の視点から、より積極的にアプローチすることとした。

コロナ禍のため、各専門部や支部が会して研究活動を進められない時期もあり、Google meetやZOOM等を活用した研修会も行われた。各部の研究内容や重点を、共同研究推進委員会で共有検討し、それぞれの部が札幌市全体の共同研究の一端を担い、全会員に還流する研究体制の構築を進めた。研究集録は、次年度の「会員要覧」と合本して令和4年5月に作成する。

各専門部の研究副主題と研究内容は以下のとおり。

「学ぶ力」育成部	「学ぶ力」を育む豊かで確かな学校経営の在り方 <ul style="list-style-type: none">・「学ぶ力」育成に向けた校長の関わりと学校評価に関する研究を推進する。・実効性の高い教育課程の創造と検証を行う。
「豊かな心」育成部	多様性を認め合い、自他の命を大切にす豊かな心を育む学校経営の在り方 <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス禍の中で、「今、子どもに“どんな心”を育むことが大切か」について考える。・「豊かな心の育成」につながる実践（各校の強みや良さ、有効な取組）を交流することで「豊かな心の育成とは」を明らかにし、自校の学校経営に生かしていく。
「健やかな体」育成部 (今年度第64回道小石狩 ・千歳大会にて研究発表)	心身ともに健やかな子どもを育む学校経営の在り方 <ul style="list-style-type: none">・健康的な体及び体力の向上に関する指導の充実を図る。・学校における保健・安全に関する指導の充実を図る。・関係団体との連携及び諸課題についての研修活動の推進を図る。
学びの支援部	一人一人の教育的ニーズに応える学校経営の在り方 <ul style="list-style-type: none">・通常学級の中での、配慮を要する児童への指導の充実について・特別支援学級・通級指導教室での指導の充実について・不登校児童の対応について
教育環境部	未来を創る「さっぽろっ子」の育成に向けた教育環境を充実させる学校経営の在り方 <ul style="list-style-type: none">・新しい時代の学校の教育環境の在り方と活用方法及び校長の関わりについての究明・学校や地域の教育環境を生かした特色ある教育活動の推進・特色ある教育活動のための学校予算編成の在り方と執行に関する研修・学校の安全管理・危機管理・情報管理に対応する教育環境やシステムの充実改善のための研修
人材育成部	人材の育成と働き方改革を実現する学校経営の在り方 <ul style="list-style-type: none">・次世代を担う教職員の育成に対していかに指導性を発揮していくかを探る。・教職員一人一人が資質向上を図りながら「やりがい」を感じ、前向きに職務を・遂行できるような働き方改革をどう進めるかを探る。・積極的に外部の有識者による部内研修を行い見識を高める。

4 おわりに

コロナ禍での2年目の研究推進の年となった。このような状況であるからこそ、正しい情報と根拠に基づく校長の経営手腕が問われる。共同研究として、各部の研究成果を会員全体でより詳しく共有することができた1年と言える。今後もそれぞれの視点から私たち校長の役割と指導性について追究していくと共に、自主的・主体的な取組の交流を図り、職能の向上や、札幌の小学校教育の充実に向け、研究の深化・発展に努めていきたい。